

「千葉市新型インフルエンザ等対策行動計画」改定案に対する意見の概要及び市の考え方

No.	頁	部・章	節	項目番号・項目名	意見の概要	意見に対する市の考え方	改定案への反映
1	35	第2部・第5章 水際対策	第2節 初動期	1 目的	“国との連携を強化するとともに、国が講ずる水際対策に協力することにより”との記載があります。組織的には、国が指示、市役所が実施だと思えます。そうすると、“協力”という言葉は主体性に欠けた表現だと思えます。	水際対策実施の主体は国にあります。地方自治体においても検疫所等から通知を受け、健康監視等の対応を行うこととなります。そのため、市としては国に“協力する”という表現としております。この部分については、原文のままとします。	—
1の2	56	第2部・第9章 治療薬・治療法	第2節 初動期	2-3 抗インフルエンザウイルス薬の使用(新型インフルエンザの場合) ア	”抗インフルエンザウイルス薬の予防投与の要請について必要な協力を行う”に関しても、上記と同様に、“協力”という言葉は主体性に欠けた表現だと思えます。	医療機関に対する予防投与の要請の主体は国にありますが、地方自治体においても必要な協力を行うこととなります。そのため、市としては国に“協力する”という表現としております。この部分については、原文のままとします。	—
2	42	第2部・第7章 ワクチン	第1節 準備期	1-6-1 住民への対応	「Vaccine Hesitancy」は、用語集に記載のように「Vaccine hesitancy(ワクチン忌避)」としていただけると分かりやすいと思えます。	ご意見を踏まえ、以下のとおり修正します。 「Vaccine Hesitancy」⇒「Vaccine Hesitancy(ワクチン忌避・予防接種への躊躇等)」	○
3	46	第2部・第7章 ワクチン	第3節 対応期	3-3-2-3 接種に関する情報提供・共有 ウ	“スマートフォン等に対して電子的に接種対象者に通知するほか”との記載があります。これは、“接種対象者にはスマートフォン等を利用して直接通知するほか”が適切と思えます。	ご意見を踏まえ、以下のとおり修正します。 なお、前段のイにおいても同様な表現をしているため、合わせて修正することとします。 イ 「接種対象者のマイナポータルアプリ等がインストールされたスマートフォン等に通知する。」⇒「マイナポータルアプリ等がインストールされたスマートフォン等を通じて接種対象者に通知する。」 ウ 「スマートフォン等に対して電子的に接種対象者に通知するほか」⇒「接種対象者にスマートフォン等を通じて電子的に通知するほか」	○